

全国学力・学習状況調査(6年生)の結果

令和4年度の全国学力・学習状況調査の各教科の調査結果をお知らせします。

【国 語】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			駒岡小	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体		14	65	65	65	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	65	66	69
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0			
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	69	73	78
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	2	67	66	66
		B 書くこと	2	49	48	49
		C 読むこと	4	71	70	67
評価の観点	知識・技能	6	66	67	71	
	思考・判断・表現	8	65	63	62	
	主体的に学習に取り組む態度	0				

【算 数】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			駒岡小	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		16	64	64	63
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	68	69	70
	B 図形	4	68	65	64
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	53	53	51
	D データの活用	3	68	70	69
評価の観点	知識・技能	9	70	69	68
	思考・判断・表現	7	57	58	57
	主体的に学習に取り組む態度	0			

<裏面あり>

【理 科】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			駒岡小	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体		17	62	63	63	
学習指導要領の区分・領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	48	52	52
		「粒子」を柱とする領域	5	58	60	60
	B区分	「生命」を柱とする領域	5	74	76	75
		「地球」を柱とする領域	5	63	65	65
評価の観点	知識・技能	6	59	62	63	
	思考・判断・表現	11	63	64	64	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	11	67	68	67	
	短答式	3	60	64	66	
	記述式	3	43	47	47	

国語、算数では、多くの項目において、全国や神奈川県平均とほぼ同じか若干下回る状況と言えます。

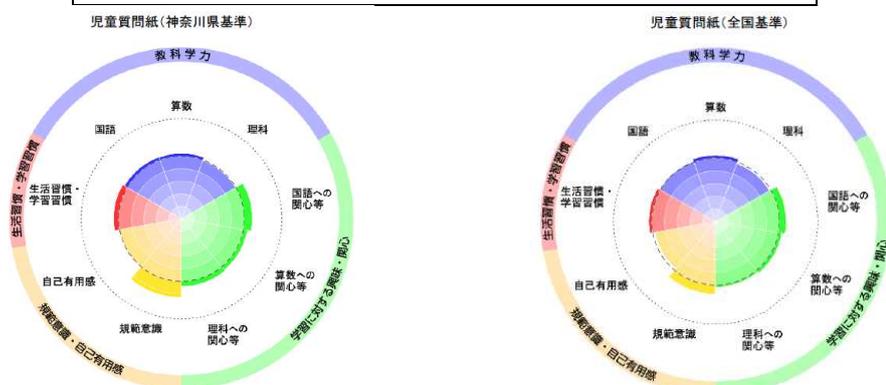
国語では、「思考力、判断力、表現力等」の「C 読むこと」で全国や神奈川県の平均正答率を上回りました。一方、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことに、課題が見られました。

算数では、「B 図形」の内容が全国や神奈川県の平均正答率を上回りました。一方、データの分類整理や読み取り、データの特徴を捉えた考察に課題が見られました。

理科では、全ての区分・領域において、全国や神奈川県の平均正答率を若干下回る状況となりました。

児童質問紙調査では、国語、算数ともに「学習に対する興味・関心」が高く、意欲的に学習に取り組んでいる状況が見られます。このことは、今後の学力向上につながると考えます。また、「規範意識」も高く、最高学年として下学年の手本となり、学校の中心として取り組んでいこうという様子がうかがえます。一方、自己有用感、全国や神奈川県と同等か少し下回る結果となりました。これまで以上に頑張っていることを認め、その都度褒めていきたいと考えています。家庭や学校の励ましや称賛が自信につながると考え、取り組んでいきます。

児童質問紙（神奈川県及び全国基準）点線は平均値



質問紙における本校児童の特徴は、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」との質問に対し、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が比較的多く見られます。このことから、学習問題に対し主体的に学ぼうとする姿が見られます。このことを生かし、引き続き職員一体となって学習指導を行って参ります。

また、子どもたち一人ひとりが社会の中のルールを守り、より規範意識をもって生きていくことができるよう、できた事実を認め、よさを見だし、本人に積極的に伝えていくことができるよう、家庭・地域の協力・支援体制の充実を呼びかけていきたいと思ひます。